

---

# 平成28年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

平成28年3月2日

質問者（質問順）

- 1 行 田 朝 仁 委 員 (公 明 党)
- 2 坂 本 勝 司 委 員 (民 主 党)
- 3 望 月 高 徳 委 員 (維 新)
- 4 古 谷 靖 彦 委 員 (共 産 党)
- 5 長谷川 琢 磨 委 員 (自 民 党)
- 6 鈴 木 太 郎 委 員 (自 民 党)
- 7 大 桑 正 貴 委 員 (無 保 会)
- 8 青 木 マ キ 委 員 (無 ・ ネ)

教育委員会事務局

# 局 別 審 査

## 1 行 田 朝 仁 委 員 (公 明 党)

### 1 28年度の教育予算編成について

- (1) 28年度の教育予算の編成の考え方について伺いたい。
- (2) 28年度の教育予算で重点を置いたことについて伺いたい。

### 2 肢体不自由特別支援学校の再編整備について

- (1) 肢体不自由特別支援学校の再編整備を行う理念について伺いたい。
- (2) 北網島特別支援学校の保護者説明会の開催状況について伺いたい。
- (3) 保護者説明会で出された意見とそれに対する対応について伺いたい。
- (4) 分教室になることによって何が変わるのか。
- (5) 保護者の不安解消に向けての今後の対応について伺いたい。

### 3 中学校昼食について

- (1) 「ハマ弁」の基本的な実施内容について伺いたい。
- (2) 公費負担の内容・金額について伺いたい。
- (3) 29年度以降の公費負担の考え方について伺いたい。
- (4) 「ハマ弁」の効率的な受渡方法について伺いたい。
- (5) 教職員の負担増とならないための取組について伺いたい。
- (6) 「ハマ弁」が中学校の昼食として定着していくための工夫について伺いたい。
- (7) 「ハマ弁」における食物アレルギー対応について伺いたい。

### 4 シャッターの安全確保に向けた取組について

- (1) 急降下防止装置設置の予定について伺いたい。
- (2) ワイヤーを使用するシャッター交換の範囲について伺いたい。

### 5 学校図書館について

- (1) 学校図書費の執行状況とそれに対する所感について伺いたい。。
- (2) 学校司書配置により見えてきた改善すべき点について伺いたい。
- (3) 学校司書の専門性を向上していくための取組について伺いたい。

#### 6 グローバル人材について

- (1) 横浜ならではの英語教育の評価と今後の取組について伺いたい。
- (2) 海外大学進学支援プログラムの概要と実施状況について伺いたい。
- (3) 海外大学進学支援プログラムの今後の展開について伺いたい。
- (4) 教員の海外研修派遣事業の評価と今後の見通しについて伺いたい。

#### 7 高等学校入学者選抜の追試等の実施について

- (1) 高校入試制度における病気等の受検者への対応について伺いたい。
- (2) 高校入試において追検査を実施することの有無について伺いたい。

## 2 坂本勝司委員（民主党）

### 1 児童生徒急増対策について

- (1) 児童生徒数が急増している主な理由とその地域について伺いたい。
- (2) 児童生徒数急増地域での対応の基本的な考え方について伺いたい。
- (3) 秋葉小学校の不足教室対策について伺いたい。
- (4) 大規模マンション開発等への対応について伺いたい。

### 2 学校トイレの洋式化について

- (1) 27年度のトイレ整備の状況と洋式化率の見込みについて伺いたい。
- (2) 28年度のトイレ整備の考え方について伺いたい。

### 3 教員の海外研修派遣について

- (1) 派遣者が学びとってきた成果について伺いたい。
- (2) 研修成果を広めていくための取組について伺いたい。

### 4 特別支援教育におけるタブレット端末の活用に関する研究事業について

- (1) 事業の目的について伺いたい。
- (2) 研究事業を今後の特別支援教育にどう活用できるか。

### 5 児童支援専任教諭の配置について

- (1) 児童支援専任教諭の役割について伺いたい。
- (2) 児童支援の充実に向けた今後の取組について伺いたい。

### 6 危険ドラッグの使用防止に向けた取組について

- (1) 薬物乱用防止に向けたこれまでの取組について伺いたい。
- (2) 学校保健審議会の答申内容について伺いたい。
- (3) 学校保健審議会の答申を受けた具体的取組について伺いたい。

### 3 望月高德委員(維新)

#### 1 組体操などの体育事故の防止について

- (1) 組体操の実施状況や事故についての調査の有無について伺いたい。
- (2) 組体操の実施決定者と行われる場面について伺いたい。
- (3) 重大な事故につながった事例の有無について伺いたい。
- (4) 事故防止に向けた教育委員会の取組について伺いたい。
- (5) 教員向けの研修の内容について伺いたい。
- (6) 重大な事故が起きた場合の対応について伺いたい。
- (7) 文部科学省の出す方針への本市の対応について伺いたい。
- (8) 教員向けの研修の内容と重大な事故が起きた場合の対応について伺いたい。

#### 2 北綱島特別支援学校について

- (1) 再編整備の考え方を伝えるための保護者への説明の在り方に対する自己評価について伺いたい。
- (2) 保護者説明会のあり方をどう評価し、今後どう対応していくのか伺いたい。
- (3) 肢体不自由特別支援学校のエリア化はどのような方針に基づいて行っているのか。
- (4) 32年度の県による青葉区の新設校開校までの、1年間のギャップへの対応について伺いたい。
- (5) 分教室の存続期間は、最長いつまでなのかとその間の新入生の受け入れの可否について伺いたい。
- (6) 新入生は、平成39年まで保証されるのか。
- (7) 分教室に残っている人への転校の働きかけの有無について伺いたい。
- (8) 残り1名になった際の、分教室存続の考え方について伺いたい。
- (9) 分教室の体制について伺いたい。
- (10) 分教室の体制に関する覚書を保護者と交わすべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (11) 横浜市の特別支援学校設置の考え方について伺いたい。

#### 4 古谷靖彦委員（共産党）

##### 1 ハマ弁について

- (1) 27年第3回定例会、総合審査での答弁「昼食を食べられない生徒を無くすよう対応する」について、現在の認識について伺いたい。
- (2) 「昼食の用意が困難な生徒」の想定人数、及びその根拠について伺いたい。
- (3) 想定人数が1%という数字はあいまいではないか。
- (4) 800人という人数に根拠がないということは、計画がずさんであると思うが、教育長の見解を伺いたい。
- (4) 800人の想定を超えた場合はどうするのか。
- (5) 就学援助に関する学校教育法第十九条の趣旨に照らして、「必要な援助」の内容が小学生と中学生で異なることについての見解について伺いたい。
- (6) 小学生と中学生とでは、異なっている中身はなにか。
- (7) 就学援助とは別の基準を設けることは合理的でなく、また想定人数も少ない。就学援助受給者を更に絞り込むような基準は設けるべきではないと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (8) 横須賀市は実態把握のためのアンケートを取っている。横浜市もすべきだと考えるがどうか。
- (要望) 就学援助を受けている人には、ハマ弁の購入費を支給することを要望します。
- (9) 他都市の事例に鑑みて、横浜市の中学校昼食が成功すると考える根拠について伺いたい。
- (10) 横須賀市や大阪市が撤退した原因は、汁物の問題と注文方法が問題か。
- (11) 食数が少ないことによる事業者撤退の可能性についての教育長の見解を伺いたい。
- (12) 中学校昼食で異物混入等の問題が生じた場合、教育委員会が解決に向けて役割を果たすべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

##### 2 高校奨学金の問題について

- (1) 高校生向け奨学金制度に成績要件を設けることの意味について伺いたい。
- (2) 経済格差が学力の格差につながっているという現状認識の下、「貧困の連鎖を断つ」ため、学ぶ保障を応援するような性格の奨学金についても検討が必要と考えるが、教育長の見解を伺いたい。

### 3 施設の計画的な維持管理について

- (1) 学校からの修繕要望には全面的に応える必要があると考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (2) 屋内運動場の改修を建替えではなく大規模改修で進める理由について伺いたい。
- (3) 大規模改修が必要な屋内運動場の数と事業完了の予定について伺いたい。
- (4) 学校の抜本的な建替えにかかる事業期間と総事業費について伺いたい。
- (5) 中央図書館の蔵書は、開館当初に想定していた規模に達しており、長期的な施設更新などの計画を検討すべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

### 4 育鵬社版の歴史教科書の歴史観とグローバル人材について

- (1) 育鵬社版の歴史教科書で本市の子どもたちが学ぶことについて、パートナー都市・仁川市のある韓国や友好都市・上海市のある中国の人々がどのように感じるか見解を伺いたい。
- (2) 「多面的な見方をする」教育をすることこそ、真のグローバル人材を育てることになると考えるが、教育長の見解を伺いたい。

## 5 長谷川 琢 磨 委員（自民党）

### 1 生涯学習の推進について

- (1) 生涯学習の位置付けと取組について伺いたい。
- (2) 生涯学習を推進していくうえでの課題について伺いたい。
- (3) 生涯学習を次の段階へと進めるための取組について伺いたい。

### 2 家庭教育の支援について

- (1) 家庭教育支援の取組について伺いたい。
- (2) 家庭教育支援をしていくうえでの課題について伺いたい。
- (3) 今後の家庭教育支援の取組について伺いたい。

### 3 キャリア教育の推進について

- (1) 学校と社会の連携を推進するための取組について伺いたい。
- (2) 起業家コンテストの内容について伺いたい。
- (3) コンテスト参加校が地域密着型の課題解決学習を充実させることができるような支援について伺いたい。
- (4) キャリア教育の推進に向けた市役所の支援体制づくりについて伺いたい。
- (5) キャリア教育の中では、子ども達が自らの意思で物事を選択していく機会を多く創出することが必要であり、それが大人の責任と考えるが、教育長の見解を伺いたい。

### 4 経験の浅い教員への支援について

- (1) 初任教員を支える取組と効果について伺いたい。
- (2) 初任者支援員派遣事業の効果と課題について伺いたい。
- (3) 学校現場におけるOJTに対する支援の取組と効果について伺いたい。
- (4) 本市教員の人材育成におけるOJT推進の方向性について伺いたい。

### 5 子どもと向き合う時間の確保について



- (1) 調査・報告や会議・打合せにかかる負担軽減に向けた取組について伺いたい。
- (2) 事務作業の軽減に向けた、教育委員会の取組による効果について伺いたい。
- (3) 放課後、教員が子どもと遊びを通じて向き合うことについての考えについて伺いたい。
- (4) 負担軽減の結果、生み出された時間における子どもとの向き合い方について伺いたい。
- (5) 子どもと向き合う時間の確保に向けた教育長の決意について伺いたい。

#### 6 学校施設の保全・更新計画の推進について

- (1) 学校施設の保全・更新計画策定に向けた基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 保全・更新計画策定に向けた28年度の取組について伺いたい。

1 特別支援教育の充実について

- (1) 小学校入学時、または在学中、児童が一般学級と個別支援学級のどちらに在籍するかについての相談・支援体制について伺いたい。
- (2) 小学校で発達障害児として特別な支援を受けた児童に対する、中学校における相談・支援体制について伺いたい。
- (3) 神奈川県内の公立高校で、中学校の評定のつかない生徒の高校受検の際の対応状況と、市立高校における受検者数と入学者数について伺いたい。
- (4) 市立の知的障害の特別支援学校の高等部における「愛の手帳」を持たない生徒の数と、生徒総数に占める割合について伺いたい。
- (5) 「愛の手帳」を持たない発達障害児、特に中学校で成績がついていない生徒にとっては、高校進学が機会が極めて限定的になっていると思われるので、横浜市として、制度改善を図るべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (6) 市立高校の特別支援教育コーディネーターの役割と活動に対する評価について伺いたい。
- (7) 市立高校の特別支援教育コーディネーターのスキルアップについての教育委員会の対応について伺いたい。
- (8) 市立高校の校内委員会の役割と評価について伺いたい。
- (9) 市立高校における個別支援計画の作成状況について伺いたい。
- (10) 小中学校における特別支援教育コーディネーターの活動、校内委員会の開催、個別支援計画の作成に対する評価について伺いたい。
- (11) 校長の評価システムに特別な支援を必要とする児童・生徒への対応状況を明確に加えることで、体制の充実を図るべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。

2 南高校の入学者選抜について

- (1) 募集定員に満たなかった原因について伺いたい。
- (2) 生徒募集にあたっての活動内容について伺いたい。

(3) 南高校の1クラス募集の考え方について伺いたい。

7 大 桑 正 貴 委員（無保会）

1 個別支援学級の教員の専門性向上について

- (1) 本市における個別支援学級の現状について伺いたい。
- (2) 個別支援学級における課題認識について伺いたい。
- (3) 個別支援学級の教員への研修の状況について伺いたい。
- (4) 個別支援学級の教員を支える体制づくりについて伺いたい。
- (5) 全ての教員の障害理解を深めていくことが、今後、市の特別支援教育を推進するために必要と考えるが、教育長の見解を伺いたい。

1 子どもの貧困対策について

- (1) 子どもの貧困対策に教育が果たす役割について伺いたい。
- (2) 子どもの貧困対策を進めるための他局との連携について伺いたい。
- (3) 子どもの貧困対策を進めるために全体のとりまとめ等どのような体制で行い、どこが調整し、リーダーシップをとるのか。

2 放課後学び場事業について

- (1) 「寄り添い型学習支援事業」との違いについて伺いたい。
- (2) 事業費の内訳について伺いたい。
- (3) ひと月あたりの実施回数の想定について伺いたい。
- (4) 月1回の実施では、実行性がないのではないかと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (5) 教育委員会として今後どのように実施するのか。

3 保健室支援事業について

- (1) 平成27年度配置希望校数について伺いたい。
- (2) 子どもの支援を保健室に頼っている現状に対するフォロー体制について伺いたい。

4 中学校昼食について

- (1) 昼食の用意が困難な生徒への支援は就学援助世帯は当然として、さらにプラスアルファで行うべきと考えるが、教育長の見解を伺いたい。
- (2) 昼食の用意が困難な生徒への対応に係る予算額を超えた場合の対応について伺いたい。
- (3) 「ハマ弁」に使用する食材の調達について伺いたい。
- (4) 食材の調達において、地産地消を求めていくことは当然だと思うが、見解を伺いたい。

(5) 市の方針を無視した形で昼食が進められていくことに矛盾を感じるが、教育長の見解を伺いたい。